

学校法人鴨江寺学園

令和6年度鴨江幼稚園事業報告書

1 法人の概要

- 建学の精神
- 本園は、釈尊の説かれた「法を灯明とし、自らを灯火とせよ」の、幡を掲げています。
- 本園は、先哲の流れを現代に生かし、体は野性的に！ 心豊かに！ 知能は文化人に！と、3拍子揃った教育を基本としています。
- 宇宙的広がりの中で、子どもたちが自己実現できる人間に成長し、感謝と努力を胸に、世界で創造・調和・貢献できる人間となるための土台作りに励んでいます。
- 我々は、より良い未来を創るために、PTAの三者が共に喜びあえる集団であることを念じています。
- 設立の経過
- 昭和25年3月14日 宗教法人鴨江寺 鴨江幼稚園設置認可
昭和58年6月30日 学校法人化への設置者変更申請
昭和58年7月28日 学校法人鴨江寺学園認可
平成29年3月31日 きなりこどもえん設置認可
現在に至る
- 設置する学校
- 鴨江幼稚園
- 園則定員
- | | | |
|-------|------|------|
| 3才児 | 140人 | 5クラス |
| 4才児 | 140人 | 4クラス |
| 5才児 | 140人 | 4クラス |
| <hr/> | | |
| | 420人 | |

○ 園児数の状況 (R6.5.1 現在)

3才児	70人	5クラス
4才児	71人	4クラス
5才児	84人	4クラス
		<hr/>
		225人

○ 役員・教職員の概要

理事	6人
評議員	13人
監事	2人
教職員	31人

2 事業の概要 (鴨江幼稚園)

○ 当該年度の事業の概要

別紙 年間予定表

○ 当該年度の主な事業の目的・計画

<自主> 自分の力で考える。	<自律> 自分自身を律し、感じる。	<共生> 他と共に生き生きと活動できる。
-------------------	----------------------	-------------------------

人間の土台を育む年間カリキュラムを実践する。

<教育要領実施項目>

I 健康

1. 行動と充実感

・体育ローテーション・オブネット英語

2. 運動

・体育ローテーション・マラソン・ヤマスポーツ・運動会

3. 健康・安全

・薄着・裸足の励行・防災避難訓練 (保健安全計画別途記)・交通安全教室

- II 人間関係
 - 1. 自分の力で行動する充実感
 - ・S I あそび・制作活動・園外保育・ゲーム遊び
 - 2. 人とのかかわり
 - ・お店屋さんごっこ・遠足・盆踊り・誕生会・ヒッポ
 - 3. 社会性
 - ・朝礼・基礎活動・給食当番・一泊保育

- III 環境
 - 1. 自然とのふれあい
 - ・園外保育・遠足・芋の栽培、収穫・花壇・朝顔
 - 2. 身近な環境に自分からかかわる
 - ・園内遊び・花まつり・青葉祭・七夕・クリスマス・節分・涅槃会
 - ・じゃが芋蒸し・餅つき
 - 3. 身近な事象の中で数、文字の感覚を豊かにする
 - ・タイルあそび・モンテ・絵日記・かるた

- IV 言葉
 - 1. 自分の気持ちを言葉で表現する
 - ・当番活動・生活発表会・劇遊び
 - 2. 言葉で伝え合う喜びを味わう
 - ・言語発表の時間・ごっこあそび・ヒッポ
 - 3. 日常会話を習得し、まわりの人と心を通わせる
 - ・絵本、紙芝居の読み聞かせ・ごっこ遊び

- V 表現
 - 1. 美しさに対する豊かな感性
 - ・絵画・BGM・MS・読詩
 - 2. 自分なりに表現する
 - ・劇遊び・リトミック・絵画制作・MS・発表会
 - 3. イメージを豊かにし表現を楽しむ
 - ・ライゲン・エポック・リトミック・作文・発表会

○ 令和6年度は、次の点の育成に重点をおいて事業に取り組んだ。

- 1. 園児
 - ・児に知識を与える。——▶ 考える子どもに育てる。
 - ・園と園児と家庭で共通の、園児の個人目標をたて、達成するために家庭と園が連絡を密にする。
 - ・全園児の年間第1目標達成率は98%であった。
- 2. 職員
 - ・自ら考えて行動する教師になる。

- ・自分自身に誇りを持つ。
- ・語彙を増やす。
- ・学年主任、学年会を中心とする。

○ 事業実施の概要は以下の通りである。

実施月	事業内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園式 6日 (午前10時、2階ホール) ・ 始業式 8日 ・ 心電図検査 16日(年中児) ・ 春の遠足 ・ 参観会年長 20.21、年中 24.25、年少 27.28
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内科検診 9日、30日 ・ 春の遠足 18日 ・ 身体発育測定(隔月実施)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参観会 3・6・13日 ・ 青葉祭 15日 ・ 歯科検診 20日
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七夕会 5日 ・ 年長観音山 25.26日 ・ 父親参観会 6日 (長) ・ 終業式 19日
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地藏盆踊り 23日 (午後5:30～鴨江寺・園児) ・ 始業式 26日
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練 2日 (園内・園児) ・ 父親参観会 28日 (少、光)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会 26日 (午前9:00～・西小学校・) ・ 参観会年長 5日・芋ほり 10/30
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参観会年長 7・8日 年中 14・15日 ・ 参観会年少・光 21・22日 ・ 芋蒸かし 1日
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児生活発表会 13日 ・ もちつき 4日 ・ 個人面談 16～20日 ・ クリスマス会 20日 ・ 終業式 20日
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通教室年長 16日 ・ 鴨江っ子まつり 23日
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒園遠足 10日 ・ 節分 3日 ・ 涅槃会 15日 ・ 参観会 6～7・13～14・20～21日
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひなまつり 3日 ・ 卒園式 15日 (2階ホール) ・ 修了式 14日 (2階ホール)

○ 子どもの安全・健康対策

- ・園児の健康管理 — R6/9・6/20 内科・歯科検診実施
- ・部外者への侵入対策 — R6/7月・R7/1月 防犯訓練実施
- ・園内での事故防止対策 — 週1回 遊具総点検
- ・交通事故防止対策 — R7年1月 交通安全教室実施
- ・施設設備の点検 — 電気・エレベーター隔月点検委託実施、
月初め施設設備自主点検実施
- ・地震対策 — R6/5・9・10・12・R7/3月 地震避難訓練実施
- ・火災予防対策 — R6/7・8・11・R7/2月 火災避難訓練実施
- ・新型コロナウイルス・インフルエンザに対する予防・感染防止対策に努める。
- ・給食等、食中毒の予防に努める。

○ 子育て支援活動

- ・預かり保育 月～金の登園日 15:00～18:00、夏、冬、春休み 8:00～18:00 実施し、1日平均 30名が利用した。
- ・チャイルドクラブ、ひよこクラブ — 2歳児の親子に園を開放、子育て相談に応じる
- ・チャイルドクラブ各学期 80名ほどの幼児が参加しました。
- ・ひよこクラブには各学期 30名ほどの幼児が参加しました。
- ・地域の未就園児を、行事に招待し園児との交流を図っている。各行事平均 100名ほどの参加者があった。
- ・在園児の保護者の子育て、教育相談にはその都度応じた。(年間 30名)
- ・言語に問題がある子どもの保護者と話し合い理解を得て、言葉の教室への通級をすすめ、就学前までにかかなりの成果がみられた。

3 財務の概要

○ 経年比較 別紙参照

○ 当該年度の計算書類の財務分析

- ・ 新入園児申込み目標数の卒園児数より減少
- ・ 教育効果を損なわない経費支出の見直すこと。
- ・ 新入園児獲得に向けて、より 在園児と保護者が喜んでもらえるよう日々の保育に携わる教職員の意識の高揚・資質の向上に努めなければならない。

以上

令和7年4月10日

学校法人鴨江寺学園

鴨江幼稚園

理事長・園長 建部 仁洋

年間目標		ね ら い	反 省
		<ul style="list-style-type: none"> ○生活に必要な身の回りのことが自らできるように、基本的な生活習慣を身につける。 ○共感や共有する体験を通し、友だちとの関わり方を知っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月新入園児があり、月初は落ち着きがなくなるのは毎年のことではあるが、今年度は大きく崩れることなく、在園児が引っ張ってくれた。 ・活動に対して意欲のある子が多く、毎日の保育にやりがいを感じた。 ・言葉で物の貸し借り等のやりとりができるようになった反面、自分の思いが通るまで言い続けたり、泣き続けるような幼さがまだ残る。
指導内容の視点	健康	<ul style="list-style-type: none"> ○出来る範囲内の身の回りの始末などを行いながら生活する上で必要な習慣を身に付ける。 ○ホールや園庭で体を動かす事を楽しむ。 ○手洗い・うがいが身につくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな『できた!』を積み重ねられる様、手を出し過ぎず見守りながら身辺自立ができる様援助ができた。このことが子ども達の自信へと繋がった。 ・戸外で遊ぶ事が好きな子が多かったので、外遊びで身体を十分に動かして遊びを楽しむことができた。 ・うがいの仕方を伝える所から行い、年度末には習慣として身についた。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○気の合った友だちでき、友だちと過ごす楽しさや仲間と一緒にいる喜びを味わう。 ○集団遊びの中で簡単なルールを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二子以降の子が多かったこともあるのか、友だちとの関わりが上手であった。「一緒に遊ぼう」と声をかけて誘い、子ども同士で遊びを進めることもできた。 ・しっぽり鬼ごっこや爆弾ゲーム等のルールのある遊びも、ルールを理解して楽しむことができた。光2組は人数が少ないことと月齢が小さいこともあり、1クラスではルールの理解が難しかった。光1組と合同で行うことで遊び方の理解ができた。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ○外気や草花に触れることにより、自然を感じ取る。 ○保育者と絵本を読んだり、自分で好きな絵本を選んで見ていく中で、文字に興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気候の良い季節には散歩に出掛ける機会も多く持つことができた。草花や虫にも気づくことができた。 ・例年よりも暑さが長く続き、室内で過ごすことが増えた夏であった。秋になると葉の色の移り変わりに気付く様子があった。 ・絵本が好きで長い話も聞けるようになった。また、自分で読もうとする意欲もある。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の挨拶への、親しみをもつ。 ○言葉でのやりとりを楽しみ、会話の中でいろいろな言葉を使おうとする。 ○保育者と絵本を読んだり、自分で好きな絵本を選んで見ていく中で、文字に興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶はこちらから声を掛けたり、挨拶の大切さを伝えていくことで身につけていった。 ・言葉への理解はあった。友だち同士で名前を呼ぶなど言葉でコミュニケーションを取ろうとする様子は見られた。 ・言葉で伝えようとする様子は見られているものの、月齢により語彙数や言葉の選び方などの差が大きいと感じることが多かった。
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽に親しみ、聞いたり、歌ったり、体を動かしたり、リズムに合わせて楽器で遊ぶ。 ○異年齢児との関わりの中で、様々な表現の仕方を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌や手遊び、音楽にあわせての表現遊び等皆で楽しむことができた。リズムに合わせて身体を楽しそうに動かす姿があった。カスタネットにも多く触れることができた。 ・鴨江っこまつりを通して年長児が優しくリードしてくれた。 ・クレヨン画ではなぐり描きだったものが意味のある形を描けるようになり、頭足人が見られるようになった。
保護者支援		<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣については、子どもが出来ることや自らやろうとしている意欲を共有し、喜び合うとともに、家庭でも根気強く自立に向けて協力してもらおう。 ○子ども一人一人の発達課題も共有し、育ちの見通しが立つようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園当初は不安で泣けてしまう姿があったが、その子の不安な気持ちを十分に受け止め、焦らず慣れていく姿を見守ることが出来たと思う。 ・保護者の不安な気持ちに寄り添うことで、子どもが安定して登園する事ができたとし、保護者が園の活動に協力的であった。 ・初めて満三歳児を受け持った職員は、子どもの園での姿や成長を家庭と共有することの大切さと難しさを感じたようであった。意図したように保護者に伝わらず、混乱してしまうことがあった。主任に相談する等の体制を強化していかなくてはならないと感じた。

年間目標		ね ら い	反 省
		<ul style="list-style-type: none"> ○喜んで登園し、友だちや保育者に親しみを持つ。 ○園生活の流れを知り、園の生活リズムに慣れる。 ○遊具や玩具に興味を持ち、好きな遊びを十分に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の生活リズムに慣れ、登園を楽しむことができるようになると、自ら好きな遊びを見つけられるようになった。 ・年度当初は一人遊びを好む姿があった。無理に誘うことはせず見守った。好きな遊びを十分にすることで安定し、次第に友だちと関わって遊べるようになった。クラス内でもう少し遊びの設定を工夫したら、子どもの遊びにも変化があったのではないかと感じた。
指導内容の視点	健康	<ul style="list-style-type: none"> ○自分でできる事は自分で行い、自信を持って過ごす。 ○全身を使って自然や様々なものと関わったり、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの支度や一日の生活リズムは一学期の内に身についた。 ・夏の暑さや冬の寒さが厳しく思うように遊べないこともあったが、身体を動かして遊ぶことを好み、ルールのある遊びにもよく取り組んだ。 ・園庭で虫を探したり、葉っぱや木の実、砂の感触を楽しむ様子があった。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちとの遊びの中で、園生活のルールを身につける。 ○友だちや保育者など、身近な人への関心を深め共に過ごす楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活が初めての子どももおり、順番やルールを守ることを繰り返し伝えた。徐々にルールを守れるようになり、おもちゃの貸し借りができるようにもなった。 ・様々な行事を通じてクラスの仲が深まり友だちの輪が広がった。また、年長児との関わりが増え、自由遊びで一緒に遊んだり憧れを抱く様子が見られた。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ○裸足で戸外に出て、自然に触れたり、十分に体を動かして遊びを楽しむ。 ○身近にあるものに興味を示し、遊びに取り入れようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭で虫を探したり、葉っぱや木の実、砂の感触を楽しむ様子があった。 ・園外への散歩にあまり出掛ける事ができなかった。 ・鴨江こまつりでは様々な素材を使って製作をするを楽しんだ。 ・猛暑の期間は戸外に出られない日が続いた。室内遊びの環境を整えて工夫していく必要を感じた。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の気持ちや困っている事等を、保育者に自分なりの言葉や方法で伝えようとする。 ○相手の話を聞き理解し、自分の思いも伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をしたり、お礼を伝えることは一年を通して先生が意識して伝えたことで身についてきた。 ・「痛い」「嫌だ」ということは伝えられるようになった。年度末には担任に自ら自分の気持ちを伝えられるようになった。 ・自分の思いは話せるようになったが、相手の話を聞くことが今後の課題である。
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な体験の中で、感動したことを伝え合う喜びを感じる。 ○感じたことや考えたこと、経験したことなどを音や動きなどで表現したり、描いたり、扱ったり、形を作ったりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった事、嬉しかった事は比較的伝えやすかったようである。 ・3歳児でも勝負事で負けた時には悔しがり、次は勝ちたいと練習する姿があった。 ・三学期には自分が経験して楽しかったことを絵に表すことができるようになった。 ・歌うことが好きで、皆で声を合わせて歌うことを楽しんだ。
保護者支援		<ul style="list-style-type: none"> ○保護者が安心して園児を送り出せるよう、お便りカードやクラスだよりにて園の様子を伝え、信頼関係を築いていく。 ○行事等への取り組みの様子やねらいをわかりやすく伝え、子どもの成長との関係性を理解してもらう。また、家庭からのサポートも願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスだよりやおたよりカードで、クラスの様子や子どもの様子を細やかに伝えることを心がけた。こちらが細やかに書くことで家庭からも詳しく返信をいただけた。 ・クラスだよりには園であったことのみではなく、家庭で行えそうなことを提案してみた。（一日一回は膝に入れて読み聞かせをする等）少なからず行ってくれる家庭があり、今後も続けていきたい取り組みである。 ・保護者の疑問や不安な事には電話をしてすぐに対応する事を心掛けた。送迎の保護者とはコミュニケーションを取り易かった。バス利用の方とのコミュニケーションの取り方を工夫したが十分ではなかった。

年間目標		ね ら い		反 省	
		ね ら い		反 省	
		<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ○健康的な生活習慣が身に付いていく。 ○戸外で体を動かし、ルールのある遊び・季節感のある遊びを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新しいクラスに慣れると安心して過ごせるようになったが、それ故に様々な問題行動も見られるようになった。 ・手洗い・うがいの習慣が付き、学級閉鎖になるような感染症の流行もなく元気よく過ごせた。 ・ルールのある遊びを理解し、集団遊びを好んだ。三学期には年長児と一緒にドッジボールをすることを楽しんだ。年中児だけでもドッジボールができるようになった。 	
指導内容の視点	健康	<ul style="list-style-type: none"> ○クラス全員で運動遊びに取り組む中で、目標に向かって頑張ろうとする。 ○全身運動のバランスがとれ、大人と同じように複雑な運動や様々な遊具や用具を取り入れて遊ぶことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・四月の頃には両足ジャンプやケンケンができなかったが、細やかに指導したり遊びの中に取り入れていくことで出来るようになり、縄跳びや跳び箱の成長へと繋がった。 ・運動会のパラバルーンでは子ども達に目標を伝え、その目標をクリアすることで達成感を味わうことができた。 ・運動が苦手な子ども身体を動かして遊ぶ事が多くなったと感じる。 	
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○好きな遊びを見つけ、保育者や友だちと体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ○友だちのよさに気付いたり、相手を受け入れたりしながら、友だちと一緒に活動する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新しいクラスの友だちとの会話が増え、活動も楽しめるようになった。 ・仲が深まると同時に友だち間のトラブルも増えたが、子ども達が乗り越えられるよう、見守りつつフォローするようにした。 ・行事を通して意見を伝えあったり、協力することで仲間意識がうまれた。自分だけでなく、相手にも意見があることに気づけるようになってきている。 	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな素材や自然物で製作をする。 ○行事を心待ちにし、喜んで参加する。 ○草木や風の様子等に気付き、自然の変化を感じ取ったり、冬の自然事象に興味・関心を持つ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・園庭に咲く花やダンゴムシやセミなどの虫に興味を持ち、観察をする様子が見られた。 ・様々な素材を用いての絵画や製作活動は出来たが、自然物を使うことが出来なかった。 ・半袖で過ごしているのに、冬の風の冷たさなどを肌で感じていた。寒さの中でも身体を動かして遊んだり、日向や風を避けられる場所を探して遊ぶ姿があった。 	
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ○紙芝居や絵本などを見たり聞いたりして、言葉の面白さに興味を持つとともに、友だちや保育者と言葉を交わしながら、想像してイメージを広げ、表現して楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の絵本は一年を通して楽しむことが出来た。文字を理解し、正しい場所を指して読めるようになった。また、子ども達だけでも読めるようになった。 ・子ども達の語彙数が増え、会話を担任とだけではなく子ども同士でも楽しめるようになった。 ・発表会の劇で人前で発表する経験をしたことで、それまで発言が少なかった子どもも少しずつ発言が増えてきた。 	
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ○身近にあるいろいろな素材や用具に親しみ、描いたり作ったりすることを楽しむ。 ○言葉を主体とした共通のイメージを持って遊び、工夫しながら遊びを展開する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・野菜スタンプ、吹き絵、フィンガーペインティングなど様々な技法を楽しめた。描くものによっては難しさもある。各クラスでも差が出る。子どもの実態に合わせたもの選びに力を入れていきたい。 ・子ども達がグループやクラスで意見を出し合って、一つの作品を作っていく経験をした。自分の出した意見が形になる喜びを感じる事ができた。 	
保護者支援		<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣や態度、遊び方、友だち関係などの日常生活について発信し、成長への期待の支えとなるよう関わり、保護者と共に考える。また共に成長の喜びを共有する。 ○子ども同士のトラブルは、発達の自然な姿であることを知らせ、理解や協力を求めていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長を細やかに伝えることが出来たように思う。保護者との信頼関係が出来てからは母と子どもの関わりについて伝えることで、子育ての不安を相談してくれる方もいた。子育て経験のある職員は一步踏み込んだ対応ができたが、新任者は日々の成長を伝える事だけで精一杯であった。 ・年中後半になると子ども同士のトラブルも増えてきて、保護者も不安を感じていた。子どもの育ちの中では必要な経験であり、子どもがどう解決していくかを見守って欲しいことをクラス便り等で伝えることが出来た。 	

年間目標		ね ら い	反 省
		<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境に慣れ、主体的に遊びに関わると同時に、友だちのつながりを楽しむ。 ○年長児としての自覚を持ち、意欲的に園生活を送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れることは早かった。同年齢の子とは自発的に遊び、会話する事が多かった。反面、年長としての自覚が生まれるまでは時間がかかった。 ・様々な行事を経験していく中で年長としての自覚が生まれ、年下の子に譲ったり優しく教えてあげる姿が見られた。年度末にはこちらから伝えなくても、自然と年下の子を優先してあげたりと年長らしくなった。
指導内容の視点	健康	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の体に関心を持ち、健康な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ○十分に体を動かし、全身を動かして遊ぶ満足感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の暑さの中では水分補給をまめに行う、冬の寒さの中では身体を動かして遊び、身体を温めるなどを意識して生活することができた。 ・一年を通してドッジボールやけいどろ、リレーなどのルールのある遊びを楽しむ事が出来た。最初は参加しなかった子も集団遊びの楽しさを味わう事で、自ら遊びの中に入ってくるようになった。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びの中での意見や感情の行き違いの中で、相手の気持ちや考えを分かろうとする。 ○仲間と協働しながら、遊びを持続し発展させ、共通の目的を持ち創意工夫しながら満足いくまでやり遂げようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を言えるようになった反面、自分中心で相手の気持ちを考える事が難しかった。保育者が相手の気持ちに気付かせていったり、子ども同士で話し合う機会を設けたりした。行事等でクラスの仲が深まり、互いを思いやりながら遊ぶことが出来るようになった。 ・様々な友だちとの関わりが見られるようになった頃から「こうしよう」と目的を一致させて一つの遊びで遊び込む姿があった。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ○活動や経験を通して、見通しを立てる力が育ち、進んで環境に関わろうとする。 ○身近に起こる自然事象に関心を持ち、疑問に思ったことなどを試したり、調べたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目先の事だけではなく、どうしたら目的を達成できるのかを考える力はついたように感じる。 ・「なんで?」「どうして?」という疑問を投げかける子が増えた。保育者が答えることもあったが、子ども同士で話し合うこともあった。自分達で調べられるように図鑑を用意したり環境設定ができると良かった。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の中の言葉や文字・記号に関心を持ち、自分達の表現したいことを伝える手段として取り入れて使う。 ○友だちの主張にも耳を傾け、共感したり意見を言う中で、自分の主張を譲ったり協働していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字への関心は高かった。文字を書くことは積極的であったが、作文で自分の気持ちを表現することの難しさはあった。 ・人前で発表する事が上手になった。自分が発表する事ができるようになったことで、相手の発表をどんな態度で聞いたら良いかまで考えられるようになった。
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ○共有するイメージを持って、遊びの中で役割を持ち協働しながら遊びを展開し、試行錯誤しながら満足いくまで遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの仲が深まった二学期位からは、子ども同士で話し合い遊びを進めていけるようになった。子ども達だけで遊びを展開し、十分に遊び込むこともできた。 ・歌うことや発表会の踊りで気持ちを込めたり、全身で表現することを楽しんだ。
保護者支援		<ul style="list-style-type: none"> ○クラスの運営方針を伝え、一緒に子育てを楽しめるように言葉かけをする。 ○子どもが試行錯誤しながら成長していく様子を伝え、温かく見守りながら励ますことの大切さを理解してもらおう。 ○就学に向けての保護者の対し、小学校の様子や情報を知らせ、安心してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスだよりやおたよりカードで保護者と連携を図ることは、どのクラスも出来たと思う。子育てと一緒に楽しむという点は、難しい所があった。 ・運動会や発表会等子どもの姿を見ていただく機会が多く、保護者とのコミュニケーションをとりやすかった。 ・子ども同士のトラブルに不安を感じる保護者に、寄り添いながら子どもが解決していけるように見守って欲しい事を細やかに伝えることが出来た。 ・就学に向けて必要なことをクラス毎や学年全体で保護者に伝えていく機会があってもよいのではないだろうか。園生活の中で、子どもには伝えられたので保護者への発信が必要である。

令和6(2024)年度 学校法人鴨江寺学園鴨江幼稚園の教育活動に関する自己評価並びに学校関係者評価委員の意見

令和7年3月30日

学)鴨江寺学園理事長 建部仁洋
学校関係者評価委員議長 吉澤俊道

○ 自己評価及び学校関係者評価

評価分類	評価内容	自己評価		学校関係者評価委員会		
		園としての反省・分析・改善点	評価	委員会の意見	評価	
保育の計画性	①園の教育理念の理解	園の教育理念や教育方針に共感し、その内容を十分理解している。	指導計画・並びに教育環境には十分配慮しており、充実した保育を提供している。また教育理念に対しては理解が深まっている。	A	園の教育方針に沿って先生方は一所懸命に教育をしている。ただし現状に満足せずに改革改善は必要である。	A
	②指導計画の作成	幼稚園教育要領、教育方針、課程、園児の実態等を配慮して作成している。				
	③環境構成	指導計画を基に、意欲的かつ主体的に活動できる環境を構成している。				
	④計画の評価・反省	自分の保育と計画を評価・反省し、話し合い、次の保育に役立っている。				
保育の在り方	①健康と安全への配慮	朝幼児の健康管理には十分に配慮し、安全性や清潔さにも配慮している。	各教師の意識は高く、子ども一人ひとりに対する対応力は高くなっている。しかし行事等で忙しくなると、疎かになることがある。	B	情報共有など意識的にはしているが、時期によっては意識がいつてない時もあり、いかなる時も幼児への意識を高く持つべきである。	A
	②個の理解	幼児を理解し、あるがままを受け止めるとともに、指導目標を明確にしている。				
	③幼児との関わり	傾聴・共感・受容・認証・奨励のかかわりを大切にしている。				
	④教師同士の連携	教師全員が幼児について理解し、互いに連携しあうことを大切にしている。				
や教師としての良識・責任・資質	①良識とマナー	教師らしい品位のある言葉を心掛けている。	教師として保育を楽しく出来ている。教師らしさという概念に囚われすぎずに、節度を保ちながら個人として成長を感じる。	A	教師らしさという概念が希薄になりつつある時代の中で、「教師」としての一定水準を保つ努力がみられる。	B
	②職務上の守秘義務	職務上知り得た情報などの秘密を守る。重要書類等を持ち出さない。				
	③保育の楽しみ・喜び	生活を創り出すことを楽しく思い、幼児の成長を理解し喜ぶことができる。				
	④状況を感じる感性	幼児教育の情報を捉え、自然や社会の出来事にも関心を持つ。				
保護者への対応	①情報の発信	クラスようす、自分の保育観、ポイントなどを知らせている。	クラス便りや参観会などで保護者との関りは多く持つようにしている。しかし特定の保護者には伝わらなかつたり、ストレスを感じることも多い。	A	SNS等での情報発信に注力している。また保護者の相談などに時間を割いていることがわかる。	A
	②個への対応	個々の幼児について必要に応じて情報を発信したり受信したりしている。				
	③保護者や幼児への対応	保護者や幼児と公平に接し、教師としての節度をもって適切に対応している。				
	④相談などへの対処	相談等に話を聞き、主任や園長に報告・連絡・相談し、適切に対処している。				
地域との関わり	①子育て支援への関心	園が地域の子育て支援センターの役割を有していることを理解している。	小学校連携の研修等で接続や情報収集など教師の意識が変わり始めているが、学年が下に行くほど意識が薄い。	B	幼少連携に向けた意識は高まっている。地域との関りがあまり持てないカリキュラムとなっているのでそこが改善点である。	B
	②小学校との連携	スムーズに小学校へ進学できるよう、小学校の教育内容を理解している。				
	③人々への関わり	地域の人々と親しく挨拶を交わしている。				
	④地域への関わり	地域の自然や施設の場所、交通機関、主な行事等について把握している。				
研修と研究	①研修・研究意欲	研修や研究の必要性を認識し、自己課題をもって参加している。	コロナ前に比べて研修自体が増加しているので、参加することはできている。しかし研修の成果を実践まで落とし込むことができていない。	B	研修の増加により、先生の意識の向上、学びへ意欲が見受けられて、今後に期待できる。	A
	②教師としての研究	幼児のみとりと内面を理解し、指導と関わりについて研修・研究を行っている。				
	③遊具・教材	園の遊具や教材について、特徴や扱い方、利用方法を研究している。				
	④自らを高める	保育関係の他に、趣味、読書、芸術等、教養を深める努力をしている。				
総合評価	保護者アンケート	さまざまな行事・教育・遊びを幼稚園として企画していて、充実した園生活をおくれている。	総合的考察		幼稚園として努力をしているのがよくわかる。しかし時代の流れとして園児減少の中、園児獲得等の為にも今以上の情報発信や質の向上など全方向にしていけないと、園児減少に歯止めがきかない。	

学校法人 鴨江寺学園

令和6年度 きなりこどもえん事業報告書

1 法人の概要

- 建学の精神 本園は、釈尊の説かれた「法を灯明とし、自らを灯火とせよ」の、幡を掲げています。

本園は、先哲の流れを現代に生かし、体は野性的に！ 心豊かに！
知能は文化人に！と、3拍子揃った教育を基本としています。

宇宙的広がりの中で、子どもたちが自己実現できる人間に成長し、感謝と努力を胸に、世界で創造・調和・貢献できる人間となるための土台作りに励んでいます。

我々は、より良い未来を創るために、PTAの三者が共に喜びあえる集団であることを念じています。

- 設立の経過 昭和25年3月14日 宗教法人鴨江寺 鴨江幼稚園設置認可
昭和58年6月30日 学校法人化への設置者変更申請
昭和58年7月28日 学校法人鴨江寺学園認可
平成29年3月31日 学校法人鴨江寺学園幼保連携型認定
きなりこどもえん 設置認可
現在に至る

- 設置する学校 きなりこどもえん

- 園則定員
- | | | |
|-----|-----|-------|
| 0才児 | 9人 | 1クラス |
| 1才児 | 15人 | 1クラス |
| 2才児 | 24人 | 1クラス |
| 3才児 | 24人 | 1クラス |
| 4才児 | 24人 | 1クラス |
| 5才児 | 24人 | 1クラス |
| | | <hr/> |
| | | 120人 |

- 園児数
- | | | |
|-----|-----|------|
| 0才児 | 6人 | 1クラス |
| 1才児 | 18人 | 1クラス |
| 2才児 | 24人 | 1クラス |

3才児 24人 1クラス

4才児 24人 1クラス

5才児 24人 1クラス

120人

○ 役員・教職員の概要

理事 6人

評議員 13人

監事 2人

教職員 32人

2 事業の概要

○ 当該年度の事業の概要

別紙 年間予定表

○ 当該年度の主な事業の目的



人間の土台を育む年間カリキュラムを実践

○ 園と園児と家庭で共通の、園児の個人目標をたて、達成するために家庭と園が連絡を密にした。

○ 子どもの安全対策

- ・園児の健康管理 — R6年5月・6月・10月 内科・歯科検診実施
- ・部外者への侵入対策 — R6年1月 防犯訓練実施
- ・園内での事故防止対策 — 月1回 遊具総点検
- ・交通事故防止対策 — R6年6月 ・R7年2月 交通安全教室実施
- ・施設設備の点検 — 電気・エレベーター隔月点検委託実施
月初め施設設備自主点検実施
- ・地震対策 — R6年5・9・10・12 R7.3月 地震避難訓練実施
- ・火災予防対策 — R6年4・7・8・11 R7年2月 火災避難訓練実施

<教育要領実施項目>

- I 健康
 - 1. 行動と充実感
 - ・体育ローテーション・オプネット英語
 - 2. 運動
 - ・マラソン・コスモスポーツ・運動会
 - 3. 健康・安全
 - ・薄着の励行・防災避難訓練・交通安全教室・コロナ対策

- II 人間関係
 - 1. 自分の力で行動する充実感
 - ・制作活動・園外保育・ゲーム遊び
 - 2. 人とのかかわり
 - ・お店屋さんごっこ・遠足・盆踊り・ヒッポ
 - 3. 社会性
 - ・朝礼・基礎活動・給食当番

- III 環境
 - 1. 自然とのふれあい
 - ・園外保育・遠足・花壇・朝顔、野菜の栽培
 - 2. 身近な環境に自分からかかわる
 - ・園内遊び・七夕・餅つき・クリスマス・節分・クッキング
 - 3. 身近な事象の中で数、文字の感覚を豊かにする
 - ・モンテ・かるた

- IV 言葉
 - 1. 自分の気持ちを言葉で表現する
 - ・当番活動・生活発表会・劇遊び
 - 2. 言葉で伝え合う喜びを味わう
 - ・言語発表の時間・ごっこあそび・ヒッポ
 - 3. 日常会話を習得し、まわりの人と心を通わせる

・絵本、紙芝居の読み聞かせ・ごっこ遊び

V 表 現

1. 美しさに対する豊かな感性

・絵画・BGM・読詩

2. 自分なりに表現する

・劇遊び・リトミック・絵画制作・発表会

3. イメージを豊かにし表現を楽しむ

・エポック・リトミック・発表会

以 上

令和7年4月8日

学校法人鴨江寺学園
きなりこどもえん
園長 建部 真貴子

令和6年度 きなりこどもえん自己評価

きなりこどもえん 園長 建部真貴子
 学校関係者評価委員議長 吉澤 俊道

評価分類	評価内容	自己評価		学校関係者評価委員会	
		園としての反省と改善案	評価	学校関係者評価委員会の意見	評価
社会人としてのマナー	教職員として意識し、職員同士がチームであることを意識し、行動できているか。	ほぼ全員の教職員が社会人としてのマナーと自覚を持って行動している。今後も教職員同士の連携と協調性を保育に活かしていきたい。	A	職員一人ひとりのあいさつもしっかりしていて保護者の評判がよく、全体の印象がよい。	A
保護者への対応	個人情報を適正に取り扱いし、保護者に対して区別や差別をすることなく対応できているか。	教職員は個人情報の取り扱いに遵守を徹底している。保護者への挨拶や声掛け、些細な疑問にも丁寧に対応し信頼関係を保つようにしている。	A	個人情報の取り扱いを適正にしている。どの保護者に対しても公平に対応をしている。	A
地域社会	地域の行事など興味関心を持って参加することができるか。	就学に向けて地域の小学校での接続を行っている。毎年、公民館まつりの作品の展示や消防署との消火訓練などを通じて連携をしている。	B	地域との交流も積極的にしている。地域の住民のご意見も真摯に受けて止めている。	B
研修・研鑽	研修等、向上心を持って参加することができるか。	職員の人数が安定してきているため、キャリアアップ研修、ルピロ研修など計画的に参加できるようになった。外部研修で補えないところは定期的に園内研修を行っている。	B	園外研修だけでなく、園内研修を多く実施されているようである。問題点などを探し、園全体の意識を高めて対処していけるとよい。	A
専門職	園の教育方針、理念を理解し、子ども達に合った保育に努めることができているか。	安全や衛生面を考慮しながら、乳幼児の発達や特性を理解し、日常生活や遊びの中で幼児教育や保育の質の向上につなげている。	B	幼児教育や保育内容が安全でより充実したものとなるようより努めてもらいたい。	A
総合		新型コロナウイルス感染症が5類に変わりコロナ以前のような生活に戻り、行事もできるようになってきた。最近では研修にも参加する機会も増え、質の向上と安心で安全な保育を心掛けている。	B	きなりこどもえんでは研修に参加したり、火災訓練や不審者訓練など事故防止に努め、安全な保育を提供が行われていると感じる。	B

令和6年度 きなりこどもえん 一年の反省

園長 建部 真貴子

<空組>

- ・今年度は、順次入園してきたので入園ごとに丁寧に対応することができた。戸外あそびを好み他の学年がないときに遊ぶよう時間配分を考えたことで安心して過ごすことができた。2学期後半からは、子どもたちの動きも活発になり、園庭や公園、おむつ替えなど常に誰がどこにいるか職員間で声を掛け合い安全に十分に気を付けるようにした。

<空1組>

- ・5人の職員で15名を保育していたが、個のペースに応じて排泄や食事などチームに分かれて過ごしていった。2学期以降は自己主張も強くなり、言葉で伝えられない分他害が増えていった。子どもの気持ちを汲み取ったり他害がどのような場面や時間帯で起こりやすいのか把握したりすることで徐々に減少した。ごっこ遊びを好み、クラスみんなて遊びを楽しむこともできた。

<光組>

- ・新入園児が9名だったので24人を2グループに分かれ園生活に慣れるようにした。しかし途中から一斉活動を急いで行ったがもう少し個々に関わり生活を送ることに重点をおいてもよかったと感じる。家庭でお願いしたいことを実践してもらえず、伝わらない難しさを感じた。

<星組>

- ・1学期は新しい環境に慣れず泣けてしまう子や保育室外に出してしまう子などいた。また、登園時に保護者との分離も難しい子が多かった。安心して園生活が送れるように保育内容を工夫したり保護者との連携もこまめに行ったりした。子ども達が興味のあることを取り入れることで日中は保育を楽しむ子が多かった。課題としては登園時間が遅く身支度に取り掛かりにくい子が多いので次年度自立できるよう見守りたい。

<虹組>

- ・園生活に不安を感じたり環境に慣れなかつたりする子が多いクラスの中で、クラス運営が難しかった。子ども達が興味を持つことを取り入れていくことで少しずつ、保育に参加する意欲も高まっていった。身辺自立も繰り返し個々に対応することで自立することができた。友だちとの関わり方が難しくとトラブルは多い。仲介に入り見守っているところである。

<月組>

- ・進級当初、子どもの好きな物ややりたいことを見つける事ができそれを1年を通し保育テーマとして進めていくことができた。絵本「11ぴきのねこ」を題材に絵画やごっこあそび、発表会のオペレッタまでつなげることができた。ごっこあそびを通し小学校へ向けて集中力や友だちとの関わり、共存、協力などを学ぶことができた。友だち同士のトラブルは多く、その都度仲介に入り子ども達で解決する力を育てることができた。

<その他>

- ・昨年度の石川県地震や南海トラフ地震臨時情報などにより緊迫した日があったが、緊急時のマニュアルや非常食や避難用品などの補充などを行なった。随時、充足や見直しをしていきたいと考えている。設備面では設立8年が経ち、不具合がある箇所がでてきているため適宜修繕等をしていきたい。

資金収支計算書

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月 31日まで

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	121,160,000	121,542,356	△ 382,356
手数料収入	0	20,000	△ 20,000
寄付金収入	0	737,800	△ 737,800
補助金収入	203,118,000	235,818,220	△ 32,700,220
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	35,350,000	37,378,349	△ 2,028,349
受取利息・配当金収入	60,000	218,681	△ 158,681
雑収入	8,790,000	10,006,947	△ 1,216,947
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	780,000	820,000	△ 40,000
その他の収入	26,567,426	27,141,616	△ 574,190
資金収入調整勘定	△ 940,000	△ 33,545,748	32,605,748
前年度繰越支払資金	734,613,964	734,613,964	
収入の部合計	1,129,499,390	1,134,752,185	△ 5,252,795

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	267,010,000	257,839,738	9,170,262
経費支出	102,750,000	85,918,528	16,831,472
借入金等利息支出	2,650,000	2,566,539	83,461
借入金等返済支出	10,010,000	10,008,000	2,000
施設関係支出	0	0	0
設備関係支出	1,950,000	820,328	1,129,672
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	9,553,845	11,682,098	△ 2,128,253
(予備費)	(100,000)		1,900,000
	1,900,000		
資金支出調整勘定	△ 4,540,000	△ 9,973,977	5,433,977
翌年度繰越支払金	738,215,545	775,890,931	△ 37,675,386
支出の部合計	1,129,499,390	1,134,752,185	△ 5,252,795

資金収支内訳表

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月 31日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	学校法人	鴨江幼稚園	きなりこどもえん	総 額
学生生徒等納付金収入	0	87,868,090	33,674,266	121,542,356
手数料収入	0	0	20,000	20,000
寄付金収入	0	737,800	0	737,800
補助金収入	0	54,689,840	181,128,380	235,818,220
資産売却収入	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	0	35,591,510	1,786,839	37,378,349
受取利息・配当金収入	0	143,514	75,167	218,681
雑収入	0	8,563,038	1,443,909	10,006,947
借入金等収入	0	0	0	0
計	0	187,593,792	218,128,561	405,722,353

支出の部

(単位：円)

科 目	学校法人	鴨江幼稚園	きなりこどもえん	総 額
人件費支出	0	134,404,724	123,435,014	257,839,738
経費支出	110,780	56,816,273	28,991,475	85,918,528
借入金等利息支出	0	0	2,566,539	2,566,539
借入金等返済支出	0	0	10,008,000	10,008,000
施設関係支出	0	0	0	0
設備関係支出	0	534,328	286,000	820,328
計	110,780	191,755,325	165,287,028	357,153,133

事業活動収支計算書

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	121,160,000	121,542,356	△ 382,356
		手数料	0	20,000	△ 20,000
		寄付金	0	737,800	△ 737,800
		経常費等補助金	203,118,000	235,761,220	△ 32,643,220
		付随事業収入	35,350,000	37,378,349	△ 2,028,349
		雑収入	8,790,000	10,006,947	△ 1,216,947
		教育活動収入計	368,418,000	405,446,672	△ 37,028,672
	事業活動支出の部	人件費	267,010,000	257,839,738	9,170,262
		経費	137,750,000	118,541,518	19,208,482
		徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	404,760,000	376,381,256	28,378,744	
	教育活動収支差額	△ 36,342,000	29,065,416	△ 65,407,416	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	60,000	218,681	△ 158,681
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	60,000	218,681	△ 158,681
	事業活動支出の部	借入金等利息	2,650,000	2,566,539	83,461
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	2,650,000	2,566,539	83,461
		教育活動外収支差額	△ 2,590,000	△ 2,347,858	△ 242,142
経常収支差額		△ 38,932,000	26,717,558	△ 65,649,558	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	57,000	△ 57,000
		特別収入計	0	57,000	△ 57,000
	事業活動支出の部	資産処分差額	200,000	15,133	184,867
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	200,000	15,133	184,867
		特別収支差額	△ 200,000	41,867	△ 241,867
(予備費)		(100,000)			
		1,900,000		1,900,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 41,032,000	26,759,425	△ 67,791,425	
基本金組入額合計		△ 11,910,000	△ 9,538,000	△ 2,372,000	
当年度収支差額		△ 52,942,000	17,221,425	△ 70,163,425	
前年度繰越収支差額		269,662,885	269,662,885	0	
基本金取崩額		0	589,142	△ 589,142	
翌年度繰越収支差額		216,720,885	287,473,452	△ 70,752,567	
(参考)					
事業活動収入計		368,478,000	405,722,353	△ 37,244,353	
事業活動支出計		409,510,000	378,962,928	30,547,072	

事業活動収支内訳表

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目		学校法人	鴨江幼稚園	きなりこどもえん	総 額	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	0	87,868,090	33,674,266	121,542,356
	手数料	0	0	20,000	20,000	
	寄付金	0	737,800	0	737,800	
	経常費等補助金	0	54,632,840	181,128,380	235,761,220	
	付随事業収入	0	35,591,510	1,786,839	37,378,349	
	雑収入	0	8,563,038	1,443,909	10,006,947	
	教育活動収入計	0	187,393,278	218,053,394	405,446,672	
	事業活動支出の部	人件費	0	134,404,724	123,435,014	257,839,738
	経費	110,780	66,439,406	51,991,332	118,541,518	
	徴収不能額等	0	0	0	0	
	教育活動支出計	110,780	200,844,130	175,426,346	376,381,256	
	教育活動収支差額	△ 110,780	△ 13,450,852	42,627,048	29,065,416	
	教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	0	143,514	75,167
その他の教育活動外収入		0	0	0	0	
教育活動外収入計		0	143,514	75,167	218,681	
事業活動支出の部		借入金等利息	0	0	2,566,539	2,566,539
その他の教育活動外支出		0	0	0	0	
教育活動外支出計		0	0	2,566,539	2,566,539	
教育活動外収支差額		0	143,514	△ 2,491,372	△ 2,347,858	
経常収支差額		△ 110,780	△ 13,307,338	40,135,676	26,717,558	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0	0
	その他の特別収入	0	57,000	0	57,000	
	特別収入計	0	57,000	0	57,000	
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	15,132	1	15,133
	その他の特別支出	0	0	0	0	
	特別支出計	0	15,132	1	15,133	
	特別収支差額	0	41,868	△ 1	41,867	
基本金組入前当年度収支差額		△ 110,780	△ 13,265,470	40,135,675	26,759,425	
基本金組入額合計		0	0	△ 9,538,000	△ 9,538,000	
当年度収支差額		△ 110,780	△ 13,265,470	30,597,675	17,221,425	

(参考)

事業活動収入計	0	187,593,792	218,128,561	405,722,353
事業活動支出計	110,780	200,859,262	177,992,886	378,962,928

貸借対照表

令和7年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	716,143,120	747,960,915	△ 31,817,795
有形固定資産	706,468,280	738,191,390	△ 31,723,110
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	9,674,840	9,769,525	△ 94,685
流動資産	809,176,782	761,996,309	47,180,473
資産の部合計	1,525,319,902	1,509,957,224	15,362,678
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	217,434,000	227,442,000	△ 10,008,000
流動負債	24,269,049	25,657,796	△ 1,388,747
負債の部合計	241,703,049	253,099,796	△ 11,396,747
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	996,143,401	987,194,543	8,948,858
第1号基本金	996,143,401	987,194,543	8,948,858
繰越収支差額	287,473,452	269,662,885	17,810,567
純資産の部合計	1,283,616,853	1,256,857,428	26,759,425
負債及び純資産の部合計	1,525,319,902	1,509,957,224	15,362,678

財産目録 令和7年3月31日

科目	年度末
基本財産計	711,306,256
運用財産計	814,013,646
財産の部合計	1,525,319,902
固定負債計	217,434,000
流動負債計	24,269,049
負債の部合計	241,703,049


令和 6 年度監査報告書

令和 7 年 5 月 16 日

学校法人 鴨江寺学園

理事会 御中

学校法人 鴨江寺学園

監事 家近 恒泉 

監事 鈴木 昭演 

私たちは、学校法人鴨江寺学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び付属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決済書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録および計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支および財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は無いのと認めました。

以上


令和6年度監査報告書

令和7年5月16日

学校法人 鴨江寺学園

評議員会 御中

学校法人 鴨江寺学園

監事 象近 快泉 

監事 鈴木 昭演 

私たちは、学校法人鴨江寺学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び付属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決済書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録および計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支および財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以上